

世界に誇るモダニズム建築・旭町庁舎の存続・活用をめざす 住民訴訟を支援する募金へのご協力をお願い

東大阪市の旭町庁舎（旧枚岡市庁舎）は、世界文化遺産の国立西洋美術館の設計に近代建築の父ル・コルビュジェ氏とともに携わった日本人弟子の坂倉準三氏の建築研究所が行った「関西モダニズム建築 20 選」にも選ばれている貴重な建物です。

東大阪市の「公共施設再編整備」の名のもとに、多くの市民や建築家の声を無視してこの貴重な市民の財産を解体しようとしています。

そんな時、住民のみなさんが旭町庁舎の解体中止と存続・活用を求める住民訴訟に立ち上がりました。文化的建造物を守る住民訴訟は大阪では初めてのことです。

価値ある建築物の保存・活用をすすめる国際組織『DOCOMOMO（ドコモモ）ジャパン』が東大阪市に対して旭町庁舎の「再生計画」を提案するなど、建築家のみなさんを中心に旭町庁舎の存続・活用を求める声は全国に広がっています。

住民のみなさんの勇気ある闘いを支援し、旭町庁舎の存続・活用をめざす運動のいっそうの発展をめざす一口 1,000 円の募金にぜひご協力ください。

振込先口座

ゆうちょ銀行 14060-72243601

旭町庁舎の存続・活用をめざす市民の会



旭町庁舎の存続・活用をめざす市民の会

東大阪市内小阪1丁目2-23

tel 06(6784)4631

代表 浜 正幸